

八戸港の港湾計画(改訂)の概要

1. 八戸港への要請

八戸港は、青森県南東部の太平洋側に位置しており、昭和14年に貿易港として開港指定され、昭和26年に重要港湾に指定された。また、昭和39年に指定された八戸地区新産業都市の建設等地域振興の要として、さらには八戸市を中心とする北東北の拠点港湾として発展を続けている。

今日の八戸港は、臨海部への製紙・鉄鋼等の国内有数の企業集積により、北東北地域を代表する産業エリアが形成され発展してきた。これに伴い北米航路、中国・韓国航路、東南アジア航路や東京、横浜とを結ぶ内外貿コンテナ船が就航し、さらには広島、名古屋、川崎とを結ぶ定期内貿RORO船を有する国内外貨物の物流拠点として、また、北海道とを結ぶフェリー航路を有する物流・人流拠点として、北東北地域の生活と産業を支える重要な役割を担っている。

近年、八戸港においては、取扱貨物量の増大に伴い、港内貨物の混雑や混在による非効率な荷役等が顕在化しており、既存埠頭における港湾空間の再編が必要となっている。

また、八戸港背後企業の増産体制により着実に増加しているバルク・コンテナ需要に対応した貨物取扱機能強化や、八戸港を拠点とするエネルギー産業や造船産業の進出に対応するための港湾施設の拡充を図る必要がある。

八戸港では、馬淵川からの流下土砂が港内に堆積し、船舶航行や港湾施設利用に支障を来していることから、流下土砂を適切に処理し、港湾機能を維持していくことが求められている。

また、港内における船舶の安全な航行かつ効率的な荷役確保のため、港内の静穏度を向上させる必要がある。

近年、環境に対する意識が高まる中、八戸港背後企業間による副産物を活用するゼロエミッション活動が進められており、増大する循環型貨物需要に対応した港湾機能の強化に伴い、循環型産業の誘致・集積を進め、リサイクルポートとしての機能充実を図る必要がある。

また、国民生活の質の向上が求められる中、八戸港において、これまで中心であった物流・産業等に係る機能に加え、港への親しみや利用について地域住民等が享受できる魅力ある空間の確保が望まれている。

八戸港の港湾計画(改訂)の概要

2. 計画の基本方針

北東北地域の産業経済を支え、持続的な発展への貢献を目指して、「世界に開かれた北東北のゲートウェイ港湾」を実現するため、平成30年代後半を目標年次として、次のように港湾計画の方針を定め、港湾計画を改訂した。

【北東北を代表する工業港・物流港としての物流機能の強化】

北米並びに東アジア諸国とのコンテナ貨物やバルク貨物の増大に対応するため、外内貿物流機能の拡充・強化を図る。

埠頭内貨物の混雑や混在による非効率な荷役や他貨物への支障等を解消するため、完成自動車とバルク貨物の混在の解消など、埠頭内貨物の再配置を図る。

臨海部への企業の進出に対応した港湾施設の拡充を図る。

港湾機能を維持するため、馬淵川からの流下土砂を適切に処分する海面処分場を確保し、流下土砂の適切な処理・活用を図る。

船舶の安全な航行や効率的な荷役を確保するため、港内静穏度の向上を図る。

【港への親しみや利用について地域住民等が享受できる魅力ある空間の確保】

港湾における快適な環境の創造を図るため、市民が海に親しむことのできる開放的な親水空間を確保し、地域住民等の交流に配慮した空間の創出を図る。

大型旅客船の寄港のための機能を確保し、周辺観光エリアと連携した観光圏の形成を図る。

【省資源化への対応】

リサイクルポートとしての特色を発揮するため、臨海部の土地利用と密接に連携する内貿埠頭機能の拡充・強化を図る。

八戸港の港湾計画(改訂)の概要 (外内貿埠頭計画)

背景・課題

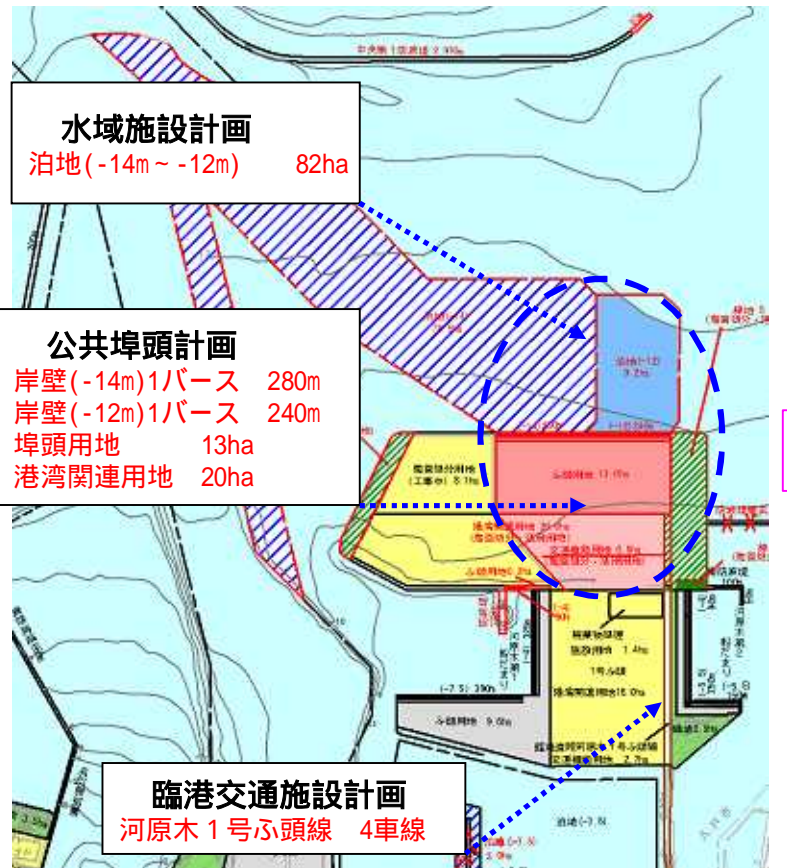
北米並びに東アジア諸国とのコンテナ貨物及びバルク貨物取扱量の増大に対応するため、外内貿物流機能の拡充・強化を図る必要がある。

改訂内容

埠頭用地の不足に対処するとともに、コンテナ貨物及びバルク貨物増大に対応するため、多目的国際ターミナル及び港湾関連施設を計画する。

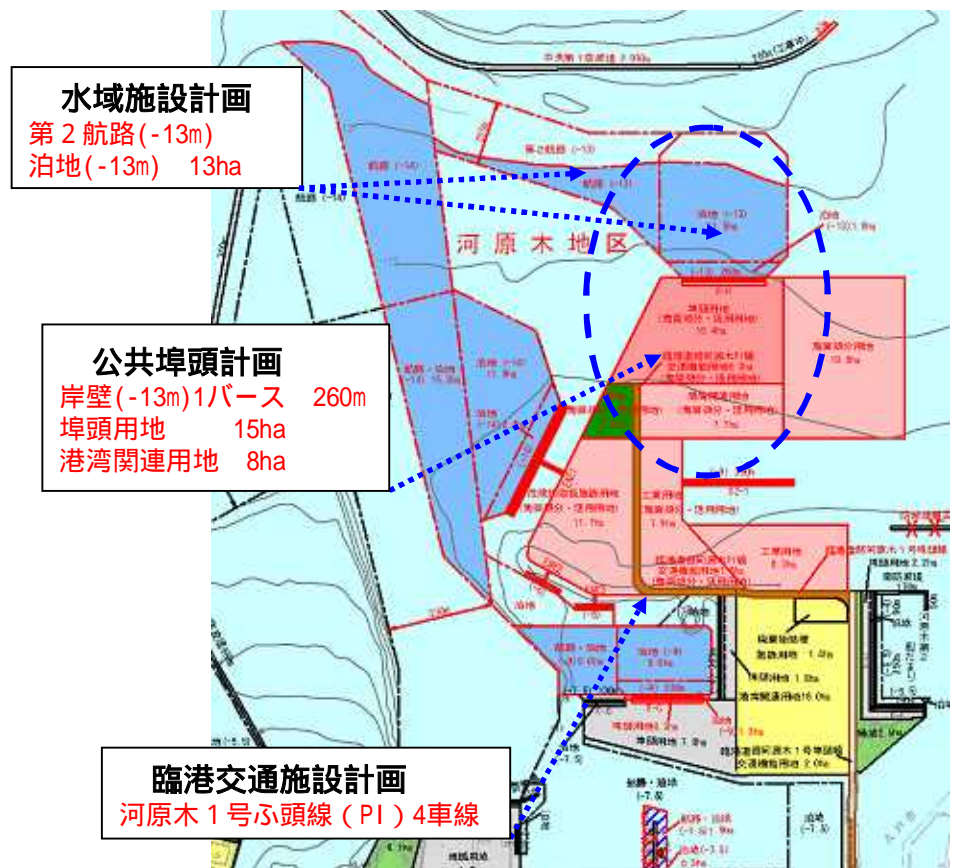
【既定計画】

(河原木地区ポートアイランド)



【今回計画】

(河原木地区ポートアイランド)



八戸港の港湾計画(改訂)の概要 (危険物取扱施設計画・専用埠頭計画)

背景・課題

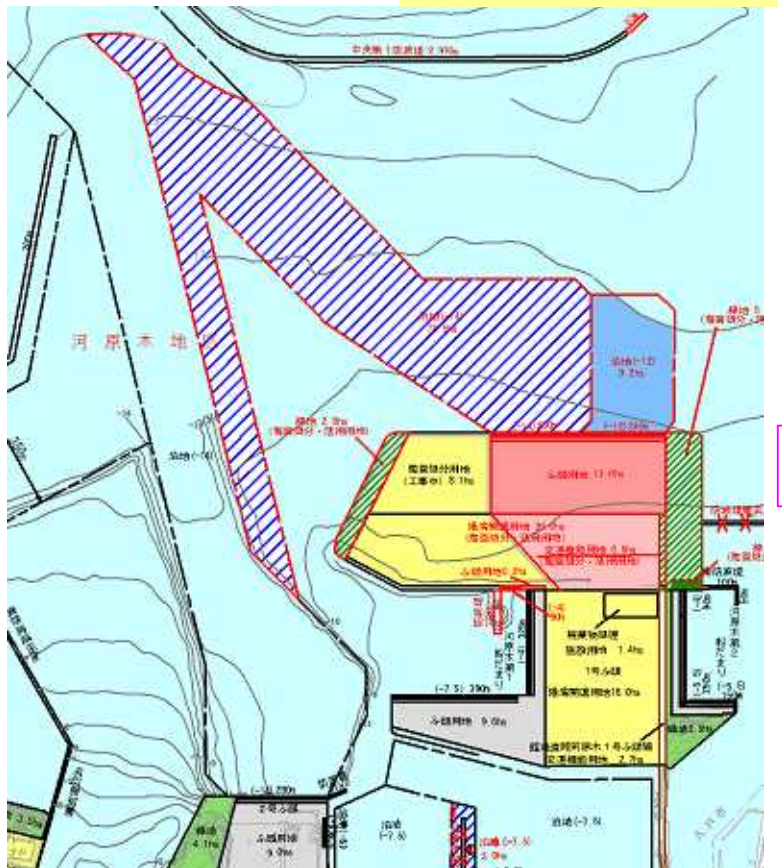
臨海部への企業の進出に対応した用地の造成及び港湾施設の強化を図る必要がある。

改訂内容

エネルギー関連業及び造船業の進出に対応するため、危険物取扱施設計画としてエネルギー関連施設を、専用埠頭計画として造船関連施設を計画する。

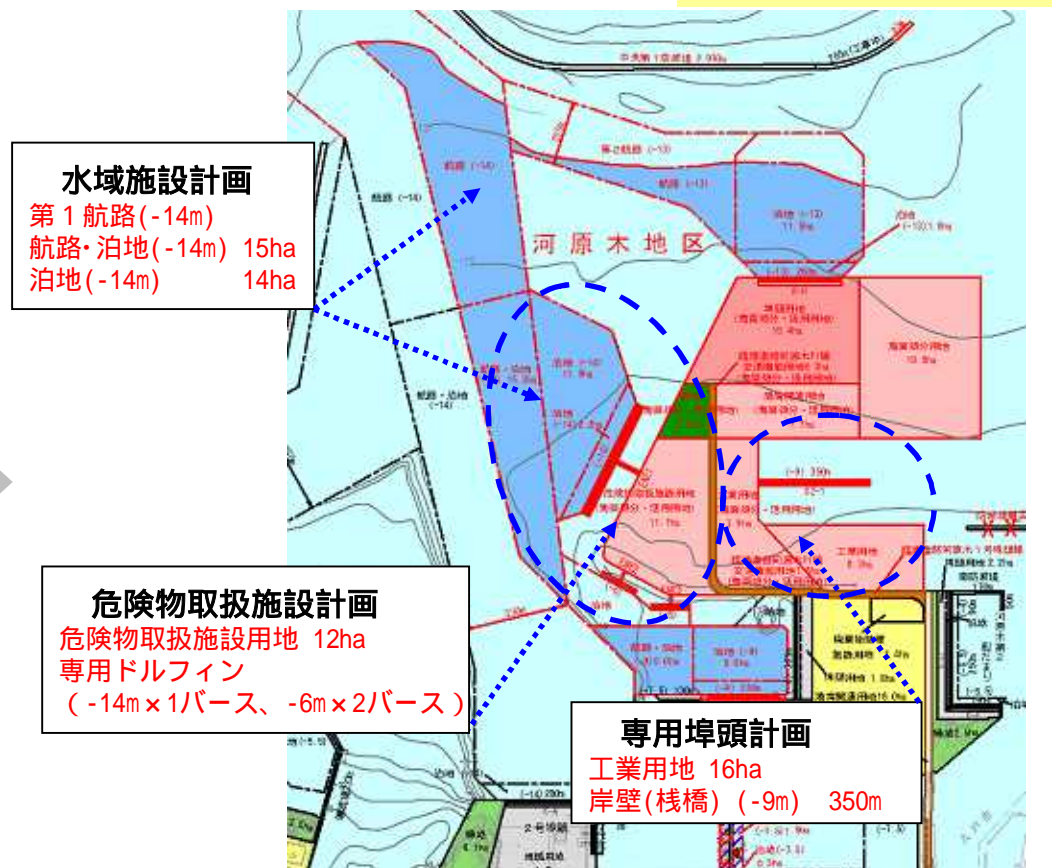
【既定計画】

(河原木地区ポートアイランド)



【今回計画】

(河原木地区ポートアイランド)



水域施設計画

第1航路(-14m)
航路・泊地(-14m) 15ha
泊地(-14m) 14ha

危険物取扱施設計画

危険物取扱施設用地 12ha
専用ドルフィン
(-14m×1バース、-6m×2バース)

専用埠頭計画

工業用地 16ha
岸壁(栈橋) (-9m) 350m

八戸港の港湾計画(改訂)の概要 (廃棄物処理計画・省資源化への対応)

背景・課題

馬淵川から毎年35万m³の流下土砂が港内に流入しており、港湾機能を維持するため、浚渫を適切に行っていく必要がある。

増大する循環型貨物需要に対応した港湾機能の強化を図るとともに循環型産業の誘致・集積を進め、リサイクルポートとしての機能充実を図る必要がある。

改訂内容

浚渫土砂の処分用地を確保するため、八太郎地区市川及び河原木地区ポートアイランドに海面処分用地、海面処分・活用用地を計画する。

八太郎地区市川に、土砂処分用地を有効活用してリサイクル関連企業の誘致・集積を進め、リサイクル貨物を中心に取扱う岸壁及び埠頭を計画する。

【既定計画】

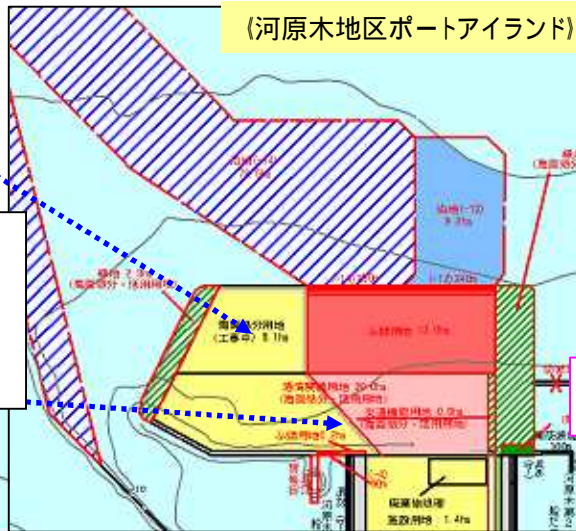
海面処分計画

廃棄物処理用地 8ha

海面処分・活用計画

廃棄物処理・活用用地 29ha
 港湾関連用地 20ha
 緑地 9ha
 交通機能用地 1ha

(河原木地区ポートアイランド)



内貿埠頭計画

岸壁(-7.5m) 2バース 260m

土地造成及び土地利用計画

工業用地 55ha

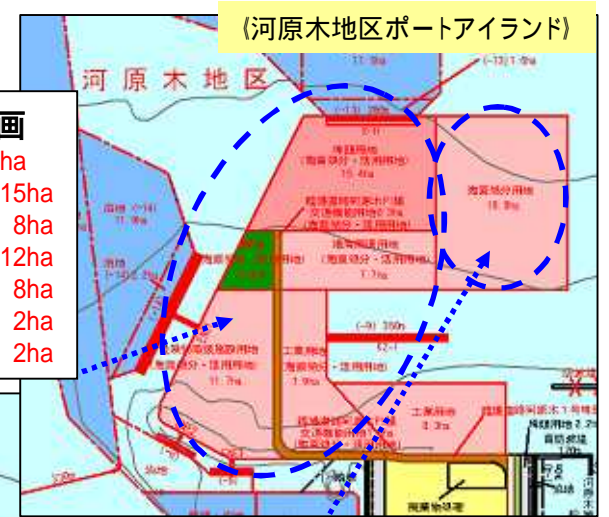
(八太郎地区市川)

【今回計画】

海面処分・活用計画

海面処分・活用用地 47ha
 埠頭用地 15ha
 港湾関連用地 8ha
 危険物取扱施設用地 12ha
 工業用地 8ha
 緑地 2ha
 交通機能用地 2ha

(河原木地区ポートアイランド)



海面処分計画

海面処分用地 19ha

内貿埠頭計画

岸壁(-7.5m) 2バース 260m

海面処分・活用計画

海面処分・活用用地 48ha
 工業用地 47ha
 交通機能用地 1ha

(八太郎地区市川)

八戸港の港湾計画(改訂)の概要



八戸港パース図(河原木地区1号埠頭(ポートアイランド))